

Card Seek ブロマガ(Vol.1)

2012 年 1 月 17 日 発行

「ジコチュー雑感」

小河 俊 紀

昨年 3 月、未曾有の東日本大震災が起こって以来、「絆」が見直されるようになった。裏返すと、それまでの日本の「ジコチュー（自己中心的）傾向」について、多くの国民が衝撃的に気づいたともいえる。


そういう私自身も、ジコチュー人間だし、特に一番身近な家族に対し、自分の都合を押し付けて生きてきたように思う。

「他人の振り見て、我が振り治せ」というが、先日、すごいジコチューに連続遭遇したので、自戒を込めて少しご紹介したい。

一つ目は、近所のコンビニでの出来事。当日は風邪気味で栄養ドリンク剤を1本購入。飲んでもいい場所を店員に聞くと、「店の前のゴミ箱あたりでどうぞ」という。空き瓶はそこに捨てて、の意味らしい。

20×20

素直にその場所で飲んでいると、突然、
「どけ！このジコチュー野郎。ここは、公共
の通路だ」と罵りながら、中年男性が私を押
しのけてきた。弁解する余地もなく、男性は
そこに止めてあった大型ランドクルーザーに
乗りこみ、さっさと走り去って行った。後で
気が付いたが、この車は、店の前の駐車禁止
の市道に大きくはみ出して、しかも反対向き
に駐車していた。普通の会社員風だったが、
いずれ大きな交通事故を起こしかねない注意
が必要な＝事故注かも」と、
思わず苦笑してしまった。



次のジコチュー話。私は、埼玉県某私鉄
沿線の住宅街に住んでいるが、いつも乗る電
車が、先日なぜか下車駅の直前のK駅で突然
運転打ち切りとなった。
「都合により、運転を打ち切ります」との簡
単な車内アナウンスがあっただけで、お詫び
の一言もない。
サービス精神がないな、とイラッとしつつ、

20×20

停車とともに素直にK駅で降りた。ところが、
「回送電車が発車します」という構内アナウ
ンスが繰り返されるだけで、なかなか発車し
ない。時間は15分くらい経過し、プラット
フォームはかなり混雑してきた。

どうしたのか、と停車して
いる電車内を覗き込むと、40
代くらいの女性が数人の駅員に
かみついている。



「なぜ、理由もなく打ち切りなの？あなた
達には公共交通としての責任感がないんです
か！」と。駅員は「まもなく、後続の電車が
来ますから」とシドロモドロ。「それでは、
約束の時間に目的の駅まで行けない。ともか
く発車しなさい！」と押し問答。

とうとう、プラットフォームは寒さで震え
る客でごった返してきた。思わず、私は駅員
に苦言を呈した後、女性に向かって「あなた
の言うことはよく分かるが、このままでは益
々電車が遅れ、貴方より急いでいる方まで迷

感 じ ま せ ん か ? 」 と 諭 し た 。 そ の 女 性 は 、 ブ
ツ ブ ツ 言 い な が ら や っ と 下 車 し た 。



正 義 感 と ジ コ チ ュ ー は 、 紙 一 重
か も し れ ま せ ん 。